

今月の内容

- 1面：震災関係、10大ニュース
- 5面：大学紹介特集
- 8面：百年記念館等竣工

神戸大学ニューズネット

NEWS NET

©神戸大学ニューズネット委員会 <http://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnet/>
 関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502
 電話 06-6307-1315 FAX 06-6307-1316 メール newsnet@std.kobe-u.ac.jp

バイト探しに
この一冊!!

アルバイト探しに役立つ
FROM A
毎週の発売 定価200円

2月号

2000年度神戸大学

10大ニュース決まる

1位 ワンゲル満上さん、遺体で発見～7月

昨年三月五日、文登連主催の登山研修中に雪庇崩落に巻き込まれ消息を絶った、ワンダーフォーゲル部の満上国秀さん(当時文・二年)が、事故現場の大日岳で遺体で発見された。九月にはワンゲル部員らによる追悼登山が行われた。

2位 商船大との統合検討～12月

神戸大が、商船大との統合を検討していくことが両大学で了承された。具体的な話し合いは今年二月に交代した新執行部に引き継がれることになる。

3位 サークルで結核集団感染～10月

神戸大の二年生から七月、排菌を伴う結核患者の発生が確認された。九月に実施された定期検診などの結果、この学生と同じサークルに所属していた二十一人が集団感染していたことがわかった。

4位 タッチフット、さくらボウル2連覇～1月

タッチフットの日本一を決める全日本王座決定戦「さくらボウル」で、学生王者の神戸大ルークスは社会人王者の東京グレートアローズに試合終了直前の逆転勝利を収め、前年のシュガーボウル優勝に続き二大タイトルを制覇した。



5位 神戸大百年記念館、山口誓子記念館が竣工～1月

神戸大百年記念館と、山口誓子記念館が今年一月に竣工、二十七日に神大会館六甲ホールで竣工記念式典が行われた。

6位 吹奏楽部、シドニー五輪開会式で演奏～9月

シドニー五輪開会式で演奏を担当した「シドニー2000オリンピックバンド」に、関西学生吹奏楽連盟のメンバーとして、吹奏楽部から十六人の部員が参加した。

7位 全教室に空調設置を計画

8位 学生証がプラスチック化へ

9位 学生会館食堂閉鎖、書籍部拡大へ～10月

10位 ラクロス、全日準決勝敗退～12月

震災6年、思いは変わらず

「私の一年はこの日から」

六甲台慰霊碑に鎮魂の祈り

新たな世紀を迎えても、この日の風景だけは変わらぬ。一月十七日、今年も六甲台の慰霊碑前には、犠牲者の遺族や学生ら多くの人が訪れ鎮魂の祈りをささげた。

「世間は新世紀だ、お正月だ」と賑わっているけれど、私の一年は常にこの日から始まるんです。息子の純

また慰霊碑の回りには、震災犠牲者の死因を記録に残すための調査を行っている震災犠牲者聞き取り調査会(代表理事 室崎益輝教授)により、東遊園地から分灯した「希望の灯り」を灯した六本の竹筒と、十個のキャンドルが並べられた。「こころなれた方の『希望』を遺族が引き継いでいけたら」と学生代表の蘭頭紗織さん(自然科学研究科・一年)。

正午には学長、副学長、学部長ら約五十人の教職員が集まり、一分間の黙とうの後、一人ずつ白菊の花を捧げた。【震災取材班】



新世紀でも、この風景だけは変わらない。(1月17日・六甲台慰霊碑で 撮影 山本賢也)

追悼の意、胸に

ひつごメモリアルウォーク

震災犠牲者を追悼する「17ひつごメモリアルウォーク」が一月十七日に行われた。ゴール地点の神戸東部新都心では追悼のついでが行われ、訪れた二千人以上の人が祈りをささげた。また、国や県のアーカイブに震災に関する資料が展示された。

「文部科学省」のブースでは、神戸大と神戸商船大の関連を行なった。

追悼の意、胸に

追悼の意、胸に

追悼の意、胸に

受験シーズン到来

2次出願 理系で増加傾向

受験シーズンが始まり、センター試験の第一日目(一月二十日)が、全国で一斉に行われた。神戸大でも例年通り、医学部以外の全ての学部で試験が行われ約六千人が受験した。

二十日は雪が舞う厳しい寒さ。厚着をした受験生たちは、緊張した面持ちで試験会場へ急いだ。

会場に入り、試験官の注意事項を聞いていると緊張は益々高まる。震える手で受験番号を記入すると、静かに試験開始のチャイムを待った。

ようやく試験が終わわり、教室を出る表情は十人十色。難しかったねと声をかけ合う女生徒。安堵の表情で煙草をくゆらせる男生徒。携帯電話で連絡をとる姿も多く見られた。

雪が雨に変わった寒空の下、会場の外で娘を待つ母親の一人は「来るなと言われたけど、やっぱり心配なんだ(すよね)」と、届けにきた傘を握りしめた。

センター試験は翌日(二十一日)の二日目で終了。二次試験の出願も二月六日で締め切られた。

前期日程は、昨年と比べ国際文化学部で志願者が減少したが、理系は前後期ともに軒並み増加。特に医学部(六倍)と工学部(三・五倍)の伸びが目立った。

前期日程は三月二十五日から、後期日程は三月十二日から始まる。受験生の春はもうそこまで迫っている。【茶谷亮】

同窓会名簿 データベース化へ

卒業生の名簿を全学で一括管理するデータベースの作成が進んでいる。

神戸大は現在十学部あるが、同窓会は一九九九年の新制統合時の学部グループ別(八つ)に分かれていた。現在、名簿の発行なども各



センター試験。試験に集中する受験生(1月20日・発達科学部試験場で撮影=茶谷亮)

就職内定率が上昇

前年比0.6ポイント増

厚生課によると、神戸大生の平成十二年度就職内定率は十二月末時点で七九・〇％だと分かった。昨年度の同時期に比べ、〇・六ポイント増加している。

男女別には、男子が七四・四％で昨年度の同時期比〇・五ポイント減。女子

就職内定率が上昇

就職内定率が上昇

就職内定率が上昇

神戸大 閉話

～其の七～

同窓会ごとに行っており、地域支部別にデータを利用するの負担が大きい。このデータベースが稼働すれば、就職活動時にOB訪問などの活用も期待される。

システム構築作業を任された▽数年ぶりに会う友人たち。式の途中も会話が弾む。壇上で話している来賓が誰なのかわからない。晴れ着やスーツだ。大半の人が親に準備してもらったに違いない。何が「成人式」だろうか▽式の会場に「おとな」は一人もいなかった。その巨成人だと祝われた人はみな、「大きなこと」だった▽祖母に「おとな」は「若いうちに苦労してこそ、良い人生を迎えられる」。苦労を重ねたら「おとな」になれるのだろうか。苦労を苦勞だと思わなくなったとき「おとな」になったと言えぬのだろうか▽「おとな」になるのを急ぐ必要はないのかも知れない。しかしいつまでも「おとな」のままではいけない▽来年は、日本どこかで「成人式」が行われるのだろうか。【大串真紀】

伏流水

人はいつ「おとな」になるのだろうか。「おとな」になったと自覚するのはいつなのだろうか▽中世の社会には「おとな」はいなかったという。物心ついた頃から生計を立てるために働く。おとなの区別はない。おとなは「小さなおとな」だった▽今年の一月、成人式を迎えた。私の市は一連の報道にあるほどではなかったが、決して「成人」の式とはいえない有様だった▽数年ぶりに会う友人たち。式の途中も会話が弾む。壇上で話している来賓が誰なのかわからない。晴れ着やスーツだ。大半の人が親に準備してもらったに違いない。何が「成人式」だろうか▽式の会場に「おとな」は一人もいなかった。その巨成人だと祝われた人はみな、「大きなこと」だった▽祖母に「おとな」は「若いうちに苦労してこそ、良い人生を迎えられる」。苦労を重ねたら「おとな」になれるのだろうか。苦労を苦勞だと思わなくなったとき「おとな」になったと言えぬのだろうか▽「おとな」になるのを急ぐ必要はないのかも知れない。しかしいつまでも「おとな」のままではいけない▽来年は、日本どこかで「成人式」が行われるのだろうか。【大串真紀】

no news
no life

ニュースのない生活なんて

<http://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnet/>

神戸大学 NEWS NET

神戸大百年記念館が竣工

大学の学術的拠点に 山口誓子記念館も



鳥の翼に見せて建てられた神戸大百年記念館
(2月14日・工学部屋上で 撮影=岩生航)

昨年十一月に完成した神戸大会館・留学生センター・山口誓子記念館の竣工式典が、一月二十七日、神戸大会館六甲ホールで行われた。神戸大会館と留学生センターからなる神戸大百年記念館は、三百年の歴史に開

念館は、羽の翼の翼をイメージした三メートルのひさしと神戸を一望できる三階のバルコニーが目を引く。国際交流の学術的拠点となる神戸大会館は、三百年の歴史をたたきながら震災で全壊した非人山口誓子の住み処を再

山口誓子記念館も

式典には、施設課、留学生センター職員他、文化系学部の教授ら三百人が出席。
式では、神戸大百年記念館の基本設計を担当した工

学部の狩野教授と、山口誓子記念館の実設計を担当した工学部の足立教授がそれぞれの建物の説明を行った。

この施設の構想に關わった留学生センターの實平雅夫助教は、「(センター)が卒業生にいい印象をもってもらえることが大事。多くの留学生に来てもらいたい」と話した。

文化総部・体育会リーダーズトレーニング(リー)が、一月十三、十四日に関西地区大学セミナーハウスで行われた。講演や懇親会などが催され、次期リーダー約百人が参加した。リーダーはリーダーの資質向上とサークル相互の交流を目的に毎年行われている。堀高太郎・文化総部委員長(工・三)は、「こんな場をこれからも作ってきたい」と話した。

なつた。狩野教授は今年三月に退官するが、神戸大で三人目の名誉博士に選出されることになっている。

説明の中で狩野教授は、記念館のコンセプトは「七つの海に開かれた雄大な建物」で海外の大学を回り構想を練ったと話した。

この施設に關わった留学生センターの實平雅夫助教は、「(センター)が卒業生にいい印象をもってもらえることが大事。多くの留学生に来てもらいたい」と話した。

文化総部・体育会リーダーズトレーニング(リー)が、一月十三、十四日に関西地区大学セミナーハウスで行われた。講演や懇親会などが催され、次期リーダー約百人が参加した。リーダーはリーダーの資質向上とサークル相互の交流を目的に毎年行われている。堀高太郎・文化総部委員長(工・三)は、「こんな場をこれからも作ってきたい」と話した。

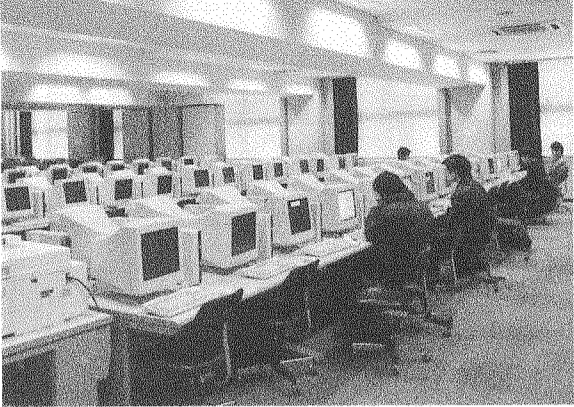
この施設に關わった留学生センターの實平雅夫助教は、「(センター)が卒業生にいい印象をもってもらえることが大事。多くの留学生に来てもらいたい」と話した。

文化総部・体育会リーダーズトレーニング(リー)が、一月十三、十四日に関西地区大学セミナーハウスで行われた。講演や懇親会などが催され、次期リーダー約百人が参加した。リーダーはリーダーの資質向上とサークル相互の交流を目的に毎年行われている。堀高太郎・文化総部委員長(工・三)は、「こんな場をこれからも作ってきたい」と話した。

文化総部・体育会リーダーズトレーニング(リー)が、一月十三、十四日に関西地区大学セミナーハウスで行われた。講演や懇親会などが催され、次期リーダー約百人が参加した。リーダーはリーダーの資質向上とサークル相互の交流を目的に毎年行われている。堀高太郎・文化総部委員長(工・三)は、「こんな場をこれからも作ってきたい」と話した。

文化総部・体育会リーダーズトレーニング(リー)が、一月十三、十四日に関西地区大学セミナーハウスで行われた。講演や懇親会などが催され、次期リーダー約百人が参加した。リーダーはリーダーの資質向上とサークル相互の交流を目的に毎年行われている。堀高太郎・文化総部委員長(工・三)は、「こんな場をこれからも作ってきたい」と話した。

システムを大幅拡張 総合情報処理センター



K棟ではパソコンが五十台増えた(2月14日・大教センターK棟503で 撮影=岩生航)

総合情報処理センター

昨年末から閉鎖している総合情報処理センターが、パソコンを大幅拡張するなどのシステム拡張を行ない、一月三十一日から順次、仮運用に入っている。今回のシステム拡張の目的は複雑な緩和と端末の増強。特に利用者の多い大教センターK棟五〇三教室では、百台のパソコンでは足りず、行ってもパソコンが空いていないことがしばしばあった。また、型も古く入れ替えを求める声も強かった。その声にこたえ、

K棟五〇三教室のパソコンを百五十台に増やし総入れ替え。さらに大教センターD棟六七八教室を七十台収容の講習室に改修した。また、新たな端末を發達

科学部情報教育設備室に四十台、工学部情報処理教室に二十台、六甲台電算機室に五十台に配備。さらに本館・分館にエニックス・ウィンドウス両用端末を二百四十六台設置する。また、それに伴い、九九年度以前の学生のメールアドレスが、@y.kobe.ac.jpに変更になる。

今回のシステム拡張について、鳩野逸生副センター長は「環境はよくなるが、今まで通りのセキュリティには十分注意してほしい」と話した。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

新しく完成した留学生センターは、教育施設として話した。詳しくは総合情報処理センターホームページで(http://www.jp.kobe.ac.jp)。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

留学生センターは、増加した留学生の日本語教育、留学生交流の推進などを目的として平成五年に設置された。しかし、プレハブからなっていた既存のセンターは規模に限りがあるため、諸行事は大学施設などに分散して行っていた。

いっしょに“報道”しませんか。

- ニュースネット委員会は神戸大の情報を学内外に発信する報道サークルです。
- 学内イベントや文化系サークルの演奏会、事件・事故などを取材する文化記者。
- アメフトや野球、サッカー、ラクロスなどの試合を取材する運動記者。
- スタジアムやステージなど最前線の現場で被写体に迫るカメラマン。
- ホームページの作成、速報の送信など、ニュースの先端を担うWEB制作部員。
- 新聞の編集レイアウトやポスターのデザインをクリエイトするDTP部員。

あなたの個性を待っています。

問い合わせ：金子孝行(経済・新2年) 090-9936-2486

特集!

It's KOBE UNIV. 大学生生活ってどんななの?

初めの第一歩

単位とは?

「大学生活ってどんなの?」受験生の関心事ナンバーワンだろう。ここでは卒業までどんな感じに進むのかそんな疑問にお答えしよう。

大学では、ある科目を修了したという証の単位を集めるのが基本。テストやレポートでその科目に合格すると単位がもらえる。ただし、高校のように何もしないうで単位が取れるわけはないので、気を付けなければならぬ。「今期はこういう授業を取ります」という履修登録を、個人が前期・後期の最初にしなければならぬ。これで初めて、単位取得の資格が生まれるのだ。これを忘れると、もう終わりと単位がもらえる。た

「自分の足で」
掲示板

大学は受取部に掲示板があり、連絡事項は全てここに掲げられる。授業がないという休講の連絡から、集中講義やガイダンスの案内、呼び出しまで、様々なことが掲示されるので、毎日確認することが賢明。掲示を見ずに、履修できないか、どうやって情報を得るか? 自分でつかもう。

「学生さんは金がない。」
バイト生活

追われ、留年したという人もバイト一色の学生生活にも「」が。バイトを探せば色々な方法がある。バイト情報誌で探したり、知人から紹介されたり。大学が紹介するバイトもある。

バイトを選ぶ上で、重点を置くのは、時給、拘束時間、休みの取り方など。個人によって何を重視するかは異なるが、自分の生活に合わせたバイトを選ぶのが賢明だ。

かべ...
テストを乗り切れ!

一年に二度、自分が学生であることを思い出す行事がある。そう、テストだ。単位を得るためには、テストは避けて通れない。この頃になると異様に授業の出席率が良くなり、知らない友達が増え、コピー機に長蛇の列ができる。

しかし、普段からきちんと授業に出て勉強していたら、テスト前に慌てふためく必要はない。みんなも大学にあこがれ、受験勉強に励んできたはず。その気持ちを忘れず、普段からまじめに授業に出て欲しい。初心、忘るべからず。

神大の達人

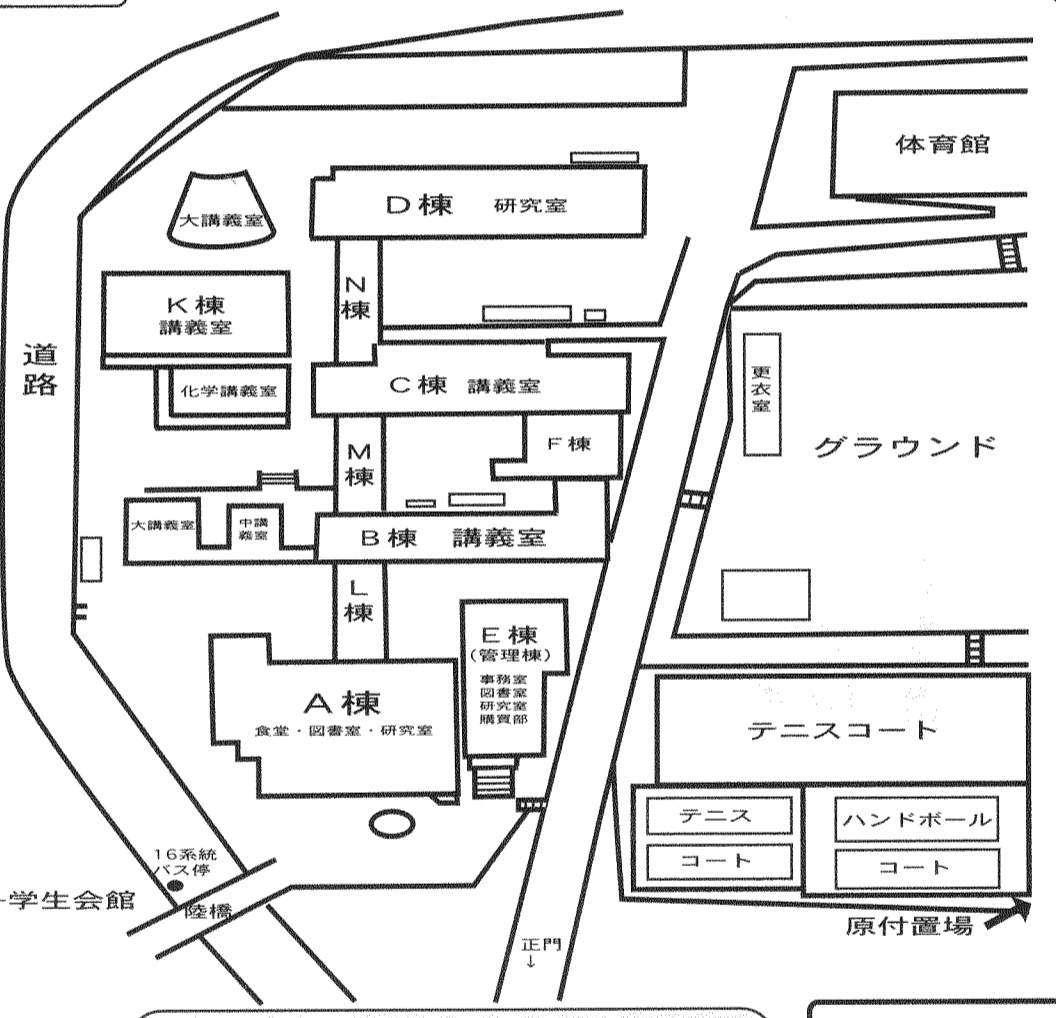
年間主要イベント紹介

神戸大では、国際文化学部は国文と呼ばれる。国文は他学部と少し違い、他学部生も多く生活するキャンパスだ。

一回生のうちは、どの学部生も国文が大学生活の中心になる。一回生の授業は、語学や教養原論と呼ばれる。大学教育研究センターが開講する授業が多く、

大学の一日 時間割

一限目 9:00~10:30	四限目 15:20~16:50
二限目 10:50~12:20	五限目(夜間主) 17:50~19:20
三限目 13:30~15:00	六限目(夜間主) 19:30~21:00



全てはここから...

神戸大では、国際文化学部は国文と呼ばれる。国文は他学部と少し違い、他学部生も多く生活するキャンパスだ。

難易度は神のみぞ...

授業は、大きく二つに分かれる。各学部・学科が開講する専門科目と、大学教育研究センターが開講する全学共通科目だ。

授業・クラス分け

全学共通科目は、語学と教養原論、そして、健康スポーツ科学に分かれる。

語学は英語と第二外国語があり、クラス分けのある。少数ない授業は、教官は指定されるため、授業の難易度は学生の運次第。語学は

なごみ...
学食

大学の憩いの場、「学食」。学食は何と言っても安さが売り。種類も豊富で、和・洋・中の全ての味が楽しめる。

食堂は全部で七つあり、雰囲気は食堂によって違う。企画メニューも多数登場し、飽きの来ないよう学生に対する配慮も。

国文の食堂は非常に混雑するため、噴水周辺や教室で食べる学生もいる。

乙用心...

神戸大生の頭を悩ませているもの。そう、それは地獄の坂道。この坂道を歩いて通学することにより、貴重な体力が奪われ、睡眠に襲われる。

そんな神戸大生にとっての宝物は原付だ。原付に乗るとアクセスが回すだけで坂道も何のその。苦行のように黙々と坂道を登る学生を尻目に、大学までひとっ飛び。こんな楽なものはない。

しかし原付に乗るには「用心」を忘れずに。

神戸大の頭を悩ませているもの。そう、それは地獄の坂道。この坂道を歩いて通学することにより、貴重な体力が奪われ、睡眠に襲われる。

そんな神戸大生にとっての宝物は原付だ。原付に乗るとアクセスが回すだけで坂道も何のその。苦行のように黙々と坂道を登る学生を尻目に、大学までひとっ飛び。こんな楽なものはない。

しかし原付に乗るには「用心」を忘れずに。

- 六甲祭(十一月) 六甲台キャンパスで行われる学園祭。模擬店数は百三十を超え、国立大学では全国最大級という呼び声も。神戸大のトップイベントだ。
- 大倉山祭・名谷祭(十月・十一月) 医学部医学科、保健学科の学園祭。医学科のある大倉山キャンパス、保健学科のある名谷キャンパスでそれぞれ行われる。
- 厳夜祭(十一月) 夜間主コースの学生による学園祭。オールナイトで行われるのは全国で唯一。麻生大会や居酒屋風の模擬店の出店など。
- 新歓祭(四月) 新入生のためのイベント。各サークル団体がブースで入部説明会を行う。ステージでの催しも必見。
- 三大学体育大会(三商大戦)(六月~十一月) 商大が前身である三大学、神戸大、一橋大、大市大の定期戦。体育会の各々が試合をする。会場は三大学で持ち回り、今年の担当校は大市大。神戸大は総合優勝で十九連覇中。
- 神京戦(六月・七月) 神戸大と京大の定期戦。硬式野球部、ラクロス部が試合を行う。野球部は十三勝十三敗一分け。ラクロス部は二勝〇敗。
- ボートレース大会(六月) 漕艇部と体育会の主催で、淀川で行われる。サークルなどの団体だけでなく、五人一組で誰でも参加できる。